

# 原地区地域づくり計画

～これからも原で暮らし続けるために～

第2次改定版



(左上：中川清掃／右上：原ふれあいまつり／左下：妻崎駅花壇づくり／右下：健康ハイキング)

令和4年4月改定

原地区コミュニティ推進協議会

# 目 次

- 1. は じ め に・・・・・・・・・・・・・・・・P 2
- 2. 原 地 区 の 現 状・・・・・・・・・・・・P 3
- 3. 主 な 課 題・・・・・・・・・・・・・・P 4
- 4. 地 域 づ く り の 目 標・・・・・・・・・・P 5
- 5. 具 体 的 活 動・・・・・・・・・・・・・・P 6



(原地区自主防災会・役員研修会<防災倉庫整理>)

# 1 はじめに

=これからも原で暮らし続けるために、一緒に考えていきませんか？=

原地区住民が、主体的に地域の将来や困りごとに対応することで、**これからも原で暮らし続けたい**という「願い」を実現させていきませんか？

このような想いに対して、原地区住民自身が知恵を絞って、解決のための取り組み（活動）を行うことにより、暮らし続けられる地域を作っていくこと、何から始めて、どのような取り組みを行っていくかなど、原地区の取り組みを平成28年度末に「**地域づくり計画**」として整理しました。

本計画作成後、関係団体が課題解決を話し合う部会や重要な方針等を検討する常任理事会をコミュニティ推進協議会に設置しました。そして、部会で話し合われた内容を理事会に報告し、その意見を踏まえて、活動や体制を見直した結果、コミュニティ活動がより改善されました。

令和2年以降、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、コミュニティ行事の中止や延期・縮小等を余儀なくされました。

しかし、「やれない理由より、やる方法を考える！」をキーワードに、新しい生活様式を踏まえた行事を実施し、従来の取り組み（防犯等）をより充実させるべく、持続的な改善を行っています。

このため、これまでの取り組みを振り返り、現状に沿った形で計画を改定することとし、この冊子にまとめました。

これからも、随時、この「地域づくり計画」の見直しを行うとともに、活動を担う「人材」と活動主体となる「組織」とが、うまく重なりあって、成長をしていくことが求められます。

## 2 原地区の現状

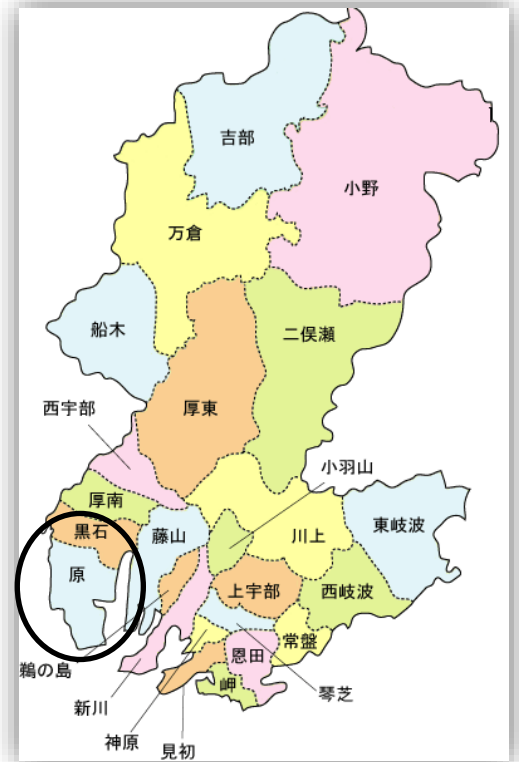
### (1) 地区の概要

原地区は宇部市の中心市街地から西へ約2 kmに位置し、東は厚東川を挟んで藤山地区に、北は黒石地区、西は山陽小野田市に接した地域です。

面積は7.94 km<sup>2</sup>で、人口は7,269人（令和4年3月1日現在）です。

地域内には、幹線道路である、宇部湾岸道路（宇部スカイロード）や国道190号線が通っている一方、自動車の通行が困難な道路が数多くあります。

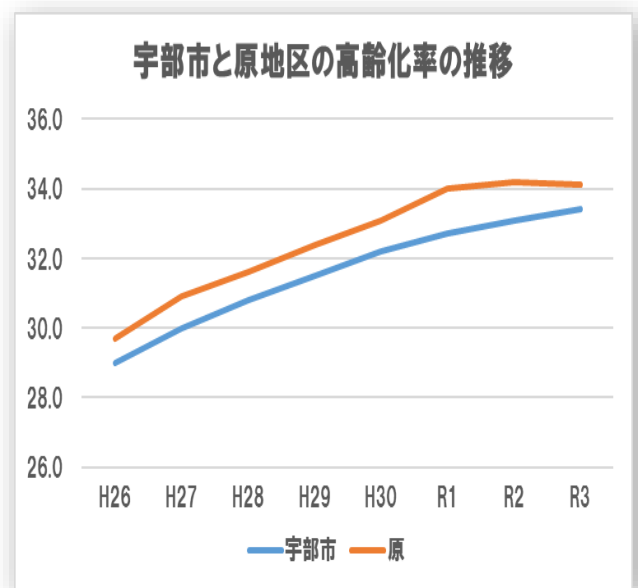
商業施設や医療施設の数が少なく、住宅、田畑と工業地域が混在しています。



### (2) 高齢化の現状

地区の高齢化率は34.1%で、宇部市の高齢化率の33.4%と比較すれば、高い値です。

10年前と比べると、約8ポイントも上昇しており、高齢化は着実に進んでいると言えます。



### 3 主な課題



#### “原っ子”の健全育成と健康長寿のまちづくり

- ・ 今後も少子高齢化が進むことが予想され、子育て支援や高齢者福祉の充実が望まれます。ご近所同士で出来る関係づくりが必要です。
- ・ いつまでも健康にいきいきと暮らすため、健康づくりの活動などを通して、地区全体に健康づくりをすすめていく必要があります。

#### 地域の安心安全と生活環境の改善

- ・ 海拔0m地帯の地域もあり、地震による被害や風水害が懸念されます。研修や訓練などを通じて、より一層、地域の防災力を高める必要があります。
- ・ 不審者が継続的に現れているため、警察等と連携し、自主的なパトロールをより多く行い、予防に繋げる必要があります。
- ・ 狭い道路が多いので、交通事故の危険性があります。誰もが安心安全に通勤通学できるよう取り組んでいく必要があります。
- ・ ゴミのポイ捨て、不法投棄が後を絶たないため、地区全体で引き続き美化活動を実施していく必要があります。
- ・ 買い物する場所や病院が少ないため、自家用車での移動ができない住民にとっては不便であり、地域内交通の利便性向上や移動販売車の導入を必要に応じて進める必要があります。

#### 地域資源の活用とコミュニティの活性化

- ・ 地区内のひと・もの・お金など保有する財産を有効に活用する必要があります。
- ・ 諸活動の支援を行い、地域住民全体のコミュニケーションを活発にすることにより、魅力ある地域づくりを進めていく必要があります。

## 4 地域づくりの目標



### “原っ子”の健全育成と健康長寿のまちづくり

- ・地域全体で、次世代を担う“原っ子”の健全育成を行っていきます。
- ・いつまでも誰もが健康で元気に過ごせるために、地区や団体、個人で健康づくりに取り組みます。赤ちゃんから高齢者まで、地域での助け合いや支えあいなど保健福祉活動を推進します。

### 地域の安心安全と生活環境の改善

- ・地域の皆が安心して安全に暮らせるまちづくりを推進するため、①地域の防災力の向上のための研修・訓練を行うとともに、②交通安全のための活動や③防犯推進活動、④見守り活動、⑤環境美化活動などを行います。
- ・毎日暮らしやすいと感じる生活環境づくりのため、①地域内交通の運行、②移動販売車の利用促進を図ります。

### 地域資源の活用とコミュニティの活性化

- ・原地区の財産である、人・もの・お金を有効に活用し、原地区の歴史や史跡、伝統的行事の保守・継承や各種団体への諸活動の支援を行います。
- ・老若男女を問わず、魅力ある地域づくりを推進するための諸活動の支援を行います。また、各部会の活動に属さない地域活性化のための行事を主催・共催等します。

## 5 具体的活動



### “原っ子”の健全育成と健康長寿のまちづくり

取り組み	事業計画	主体
“原っ子”の健全育成	育児サークル（原おひさまサークル・原っこ広場）の実施 ◎季節の行事やお母さん同士の交流を行う。	母親クラブ 母子保健推進員 保育園
	街頭補導・非行問題の啓発活動	ふれあい運動推進員会
	ふれあい標語・ポスター募集 ◎青少年非行防止のための諸活動として標語やポスターの募集を行う。	ふれあい運動推進員会
	ドッチビー大会	子ども会育成連絡協議会
	炭焼きパン焼き体験	子ども委員会
	餅米田植え・稲刈り・餅つき体験	子ども委員会
	親子ふれあい体験 ◎親子の絆づくりを行う（キャンプ等）。	子ども委員会
	通学合宿	子ども委員会
	むかし遊び	子ども委員会
	放課後子ども教室 ◎放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちが勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組む。	子ども委員会
	ジュニアリーダー研修 ◎地区行事等社会活動への積極的な参加を推進するため、ジュニアリーダーの育成に取り組む。	根っこの会
	人権教育推進大会 ◎学校、地域、家庭等で、人権尊重の視点を明確にした取組がなされるよう、実効性のある推進体制や全体計画等の整備・充実に努める。	人権教育推進委員協議会

	P T A新聞の発行	原小学校P T A 黒石中学校P T A
コミュニティ スクール	学校運営協議会の活用と社会教育推進委員会等における地区住民の学校への支援（花壇の整備等） メディアコントロールへの支援 ◎子どもが接触するメディアの内容を管理する。 ◎ノーメディアデーの実施	原小学校 原小学校P T A 黒石中学校 黒石中学校P T A 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） 社会教育推進委員会
	地区のスポーツイベントへの協力	原小学校・原小学校P T A 黒石中学校・黒石中学校P T A
	中川清掃等地区行事への協力	黒石中学校
みんなで健康 づくり	コミュニティ大運動会 ◎子どもから高齢者まで全ての地域住民がスポーツを楽しみ、地域交流と健康づくりを推進する。	コミュニティ推進協議会
	自治会対抗球技大会	体育振興会 各自治会
	市民球技大会予選	体育振興会 各自治会
	市民ソフトバレーボール大会予選	体育振興会 各自治会
	三世代ふれあいグランドゴルフ	コミュニティ推進協議会 体育振興会
	インディアカ大会	体育振興会
	バトミントン大会	体育振興会
	多世代交流 ◎多世代で楽しめるニュースポーツを紹介する。	体育振興会
	健康管理ブースの活用 ◎気軽に血圧測定等の健康チェックできるようにふれあいセンター内に健康管理ブースを設置する。	根っこの会
	ウォーキングイベントの実施 ◎気軽に運動できるという意識を高め、継続的な実践を図る。	根っこの会 まちづくりサークル コミュニティ推進協議会



	ふれあいセンターでの各教室の開催	ふれあいセンタークラブ 連絡協議会
ひとりで健康 づくり	自分の健康は自分で管理しよう！ ◎スポーツやおしゃべりでストレス発散 ◎子どもと一緒に登下校ウォーキング ◎早寝早起き ◎休肝日を作ろう など	原地区住民
高齢者の居場 所づくり	高齢者学級	老人クラブ連合会
	市老連スポーツ大会	老人クラブ連合会
	高齢者ふれあい訪問の実施	福祉委員協議会 民生児童委員協議会
	高齢者ふれあい昼食会の実施	社会福祉協議会
	いきいきサロンの実施 健康体操教室の実施	各自治会 民生児童委員協議会

### 地域の安心安全と生活環境の改善

取り組み	事業計画	主体
交通安全の推 進	交通安全運動の指導及び啓発	交通安全対策協議会
	登下校時の交通立哨、見守り活動の実施	交通安全対策協議会 根っこの会 見守り隊 原小学校PTA 黒石中学校PTA 単位子ども会
	原小学校及び地区運動会並びにふれあいまつりにおける交通整理	交通安全対策協議会
	原小学校で交通安全教室を開催	交通安全対策協議会
	交通安全運動期間中の交通立哨	交通安全対策協議会 原小学校PTA 黒石中学校PTA
	自転車の乗り方の指導	原小学校 交通安全対策協議会 警察、交通指導員

	広報誌「流川」の発行による情報発信	宇部警察署流川交番
<b>防犯体制の強化</b>	自治会ごとに防犯指導員を設置 防犯パトロールの充実 警察との連携体制の強化 高齢者・子どもの見守り活動推進	各自治会 防犯連絡協議会
<b>地域防災力の向上</b>	防災研修会の実施	自主防災会 老人会
	防災訓練の実施	自主防災会
	防災資機材の点検の実施	自主防災会
	緊急連絡網の整備	自主防災会
	小・中学生による地区主催の防災訓練の参加	原小学校 黒石中学校
<b>空家の利活用</b>	空家をパッチワーク教室や集会所として利用	各自治会
<b>生活環境の改善</b>	高齢者向け地域内交通としてコミュニティタクシーの活用	コミタク運営協議会 各自治会 民生児童委員協議会 福祉委員協議会 原地区社会福祉協議会
	移動販売車の導入、利用	各自治会
<b>環境美化</b>	地下道の清掃	各老人クラブ
	緑のカーテンづくり	環衛連原支部
	ほたるの飼育と放流	コミュニティ推進協議会
	地区内環境パトロール	環境衛生連合会
	ゴミ、空き缶持ち帰り運動、チラシ・ティッシュでの啓発運動	環境衛生連合会
	空き缶等回収	環境衛生連合会
	梅田川清掃	梅田川をきれいにする会 環境衛生連合会
	中川清掃	自治会連合会 環境衛生連合会
	不法投棄防止の掲示板の設置	環境衛生連合会
	ふれあい祭りでのごみ分別の啓発運動	環境衛生連合会



## 地域資源の活用とコミュニティの活性化

取り組み	事業計画	主体
史跡・歴史を知ってもらおう	原地区の史跡地図の作成、標柱・説明看板の設置	郷土史研究会
	輪飾り・和風作り教室	根っこの会
	地区探検 ◎地区の歴史を知るように学年で活動している。	原小学校 郷土史研究会根っこの会 交通安全対策協議会
	百手祭の継承	百手祭実行委員会
若い世代と高齢者のコミュニケーションへの支援	コミュニティ運動会への中学生の参加	コミュニティ推進協議会 黒石中学校
	三世代ふれあいランドゴルフ	コミュニティ推進協議会 体育振興会 原小学校
	妻崎駅の花壇の整備	根っこの会 原小学校
	老人福祉施設への慰問	根っこの会 原小学校
地域活動の活性化への支援	コミュニティ大運動会	コミュニティ推進協議会
	夏まつり	コミュニティ推進協議会
	ふれあいまつり	コミュニティ推進協議会
	どんど焼き	コミュニティ推進協議会
	門松づくり・そば打ち体験の実施	根っこの会
	蓮鼓太鼓	根っこの会
	ふれあいいいききサロンの実施	社会福祉協議会
	「原っ子スタンプ」の取り組み ◎小学校で、原地区の行事に参加できるように声を掛ける。	原小学校
人材の活用	原地区の人材発掘、人材バンクの検討	原小、黒石中地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）





(『妻崎駅 de アート』パネル写真)

平成 29 年 (2017 年) 3 月作成  
令和 4 年 (2022 年) 4 月改定

令和 3 年 (2021 年) 4 月改定